

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 トレンダーズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6069 URL <https://www.trenders.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒川 涼子
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 田中 隼人 TEL 03-5774-8876
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,516	5.7	197	6.1	196	5.9	123	0.7
2024年3月期第1四半期	1,434	△46.0	185	△57.2	185	△58.4	122	△60.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 133百万円 (△0.7%) 2024年3月期第1四半期 133百万円 (△57.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	15.43	15.29
2024年3月期第1四半期	17.03	16.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,499	4,062	62.5
2024年3月期	6,788	4,137	60.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 4,061百万円 2024年3月期 4,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,450	13.7	1,000	26.8	1,000	29.2	620	29.3	84.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	7,992,600株	2024年3月期	7,992,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	0株	2024年3月期	0株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	7,992,600株	2024年3月期1Q	7,193,946株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属するインターネット広告市場は、社会のデジタル化に伴って着実に成長を続けており、2023年の市場規模は3兆3,330億円（前年比7.8%増）となりました。同年の日本の総広告費は7兆3,167億円（前年比3.0%増）で、調査が開始されてから過去最高を更新しておりますが、インターネット広告費は日本の総広告費の45.5%を占めており、インターネット広告が広告市場全体を支え、牽引している状況といえます。（株式会社電通「2023年 日本の広告費」）。

インターネットが社会全体のインフラとなっている現在、インターネットでアクセスできる各種プラットフォームやWebサイト、Webサービス等は、生活者にとって欠かせない情報源です。中でも、多種多様なアカウントより発信される情報をリアルタイムで入手できるSNSは、生活者の意識や購買行動に与える影響力を増しており、企業においても、SNSを活用したマーケティングに注力する動きが加速しております。

こうした環境のもと、当社グループにおいては、事業の選択と集中を図りながら、さらなる成長を見据えた事業投資を実施しつつ、顧客企業及び生活者のニーズに合致するSNSを軸としたマーケティングソリューションの開発・提供に注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	1,516,589千円（前年同期比5.7%増）
営業利益	197,247千円（前年同期比6.1%増）
経常利益	196,476千円（前年同期比5.9%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	123,316千円（前年同期比0.7%増）

セグメント別の業績は以下のとおりです。

①マーケティング事業

マーケティング事業は、「美容マーケティング領域」「メディカルマーケティング領域」の2領域から構成されます。各領域の内容は以下のとおりであります。

<美容マーケティング領域>

主に美容カテゴリの顧客企業に向けたデジタル・SNSマーケティング支援

<メディカルマーケティング領域>

自由診療クリニックのマーケティング支援・運営DX支援とクリニック専売品の開発・販売

本事業においては、美容マーケティング領域のインフルエンサーマーケティングが好調に推移してまいりました。また、自社美容メディアであるMimiTVは、前年同期のTVCM放映等の大型プロモーションによる受注増加効果の反動がありましたが、増収で推移しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	1,435,541千円（前年同期比2.1%増）
セグメント利益	205,993千円（前年同期比9.7%増）

②インベストメント事業

インベストメント事業は、保有する資金を効果的、効率的に運用するため、非上場会社を始めとする成長事業・企業への投資を行っております。

本事業においては、営業投資有価証券の売却による売上高（売上高55百万円、営業利益0円）、及び営業投資有価証券として保有する社債の利息収益を計上しました。社債の引受額減少に伴い、前年同期比で利息収益が減少しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	81,047千円（前年同期比190.3%増）
セグメント利益	25,021千円（前年同期比8.8%減）

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は6,499,910千円（前連結会計年度末比288,095千円減少）となりました。主な要因は、営業投資有価証券の増加があった一方で、法人税等の納付、配当金の支払に伴う預金の減少があったことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は2,437,748千円（前連結会計年度末比213,216千円減少）となりました。主な要因は、買掛金及び未払法人税等が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は4,062,161千円（前連結会計年度末比74,878千円減少）となりました。主な要因は、配当金の支払に伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月14日に公表いたしました内容から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,209,250	2,215,235
受取手形及び売掛金	1,379,583	1,414,361
契約資産	24,191	24,191
営業投資有価証券	1,518,346	2,270,469
商品	42,803	38,575
仕掛品	36,605	33,893
その他	188,126	124,610
貸倒引当金	△1,317	△1,414
流動資産合計	6,397,589	6,119,922
固定資産		
有形固定資産	116,724	119,670
無形固定資産		
のれん	67,422	62,892
その他	57,000	53,600
無形固定資産合計	124,422	116,493
投資その他の資産	149,269	143,825
固定資産合計	390,416	379,988
資産合計	6,788,005	6,499,910
負債の部		
流動負債		
買掛金	643,970	511,635
短期借入金	1,501,500	1,501,500
未払法人税等	147,465	62,135
その他	323,037	327,825
流動負債合計	2,615,973	2,403,097
固定負債		
資産除去債務	27,241	27,276
その他	7,750	7,375
固定負債合計	34,991	34,651
負債合計	2,650,965	2,437,748
純資産の部		
株主資本		
資本金	629,756	629,756
資本剰余金	765,818	765,818
利益剰余金	2,737,651	2,653,122
株主資本合計	4,133,225	4,048,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,785	12,485
その他の包括利益累計額合計	2,785	12,485
新株予約権	1,028	979
純資産合計	4,137,040	4,062,161
負債純資産合計	6,788,005	6,499,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,434,167	1,516,589
売上原価	621,587	751,556
売上総利益	812,580	765,032
販売費及び一般管理費	626,721	567,785
営業利益	185,858	197,247
営業外収益		
受取利息	1,028	0
雑収入	508	1,756
その他	83	135
営業外収益合計	1,620	1,892
営業外費用		
支払利息	1,904	2,463
その他	2	200
営業外費用合計	1,906	2,663
経常利益	185,572	196,476
特別利益		
新株予約権戻入益	—	49
特別利益合計	—	49
税金等調整前四半期純利益	185,572	196,525
法人税、住民税及び事業税	47,690	65,515
法人税等調整額	15,368	7,693
法人税等合計	63,059	73,209
四半期純利益	122,513	123,316
親会社株主に帰属する四半期純利益	122,513	123,316

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	122,513	123,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,450	9,700
その他の包括利益合計	11,450	9,700
四半期包括利益	133,963	133,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	133,963	133,016
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	マーケティング 事業	インベストメ ント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,406,244	27,923	1,434,167	—	1,434,167
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,406,244	27,923	1,434,167	—	1,434,167
セグメント利益又は セグメント損失(△)	187,750	27,448	215,199	△29,340	185,858

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△29,340千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	マーケティング 事業	インベストメ ント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,435,541	81,047	1,516,589	—	1,516,589
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,435,541	81,047	1,516,589	—	1,516,589
セグメント利益又はセグメント損失（△）	205,993	25,021	231,014	△33,767	197,247

（注）1. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△33,767千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	6,168千円	9,435千円
のれん償却額	4,529千円	4,529千円